

以下のデータは、英辞郎 Ver.164 で追加されたデータのうちの一部分です。これらのサンプルデータにおいては、漢字の読み仮名が削除されています。

コンピューター／インターネット

- addicted to social media : 《be ~》〔個人などが〕ソーシャルメディア依存症である
- brute-force search : ブルートフォース検索〔サーチ〕◆深い理論的考察などに基づかず、可能性がある候補を単純に片っ端から試す。全数検索。◆【類】exhaustive search
- digital detox : デジタル・デトックス◆一定期間（例えば1~2日）、パソコン、スマートフォンなどから距離を置き、それらの使用を控えること。「電子機器（デジタル技術）の過度の使用によって心理的悪影響（ストレスなど）が生じている」と感じる人が、問題の改善・気分転換を狙って行うことがある。
- elegant algorithm : エレガントなアルゴリズム◆巧妙で効率的。
- naive algorithm : 素朴なアルゴリズム◆単純な発想に基づく。しばしば「分かりやすいが効率が悪く、改善・工夫の余地がある」という含意を伴う。
- online satisfaction survey : ネット〔オンライン〕での満足度調査〔アンケート〕◆調査対象者（顧客・従業員など）にフォームを記入・送信してもらう
- optional comment field : 〔書類・オンラインのフォームなどにおける〕自由記入のコメント欄
- privacy-aware search engine : プライバシーに配慮した〔利用者のプライバシーを尊重する〕検索エンジン
- privilege {名-8} : 〔アクセス・処理実行などの〕権限、権利
- privilege escalation vulnerability : 権限昇格の脆弱性
- transparent algorithm : 透過的なアルゴリズム

医学

- COVAX Facility : COVAX ファシリティー◆新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のワクチン（vaccine）を平等に分配するための国際的枠組み
- blood-clot dissolver : 血栓溶解剤
- bodily expulsion : 《a ~》体内からの排出物◆糞尿、汗、耳あか、嘔吐物、血液、母乳など。◆【複】bodily expulsions
- channel of sensory input : 感覚入力経路
- dupilumab {名} : 《薬学》デュピルマブ◆リジェネロンファーマシューティカル社とサノフィ・ジェンザイム社が共同開発し、2017年に米国FDAに承認されたアトピー性皮膚炎治療薬（皮下注射薬）。商品名はデュピクセント（Dupixent）。

■emollient lotions : エモリエント・ローション◆角質層の水分を保ち、肌を柔軟化する化粧水

■hair-trigger nerves : 神経過敏状態、ささいなことで [が引き金となって] カッとなる [感情を爆発させる] こと、神経がピリピリしていること

■improved with meals : 《be ~》 [症状が] 食事を取ると改善される

スポーツ

■argue with the referee : [判定に納得できない選手などが] 審判と口論 [に抗議] する

■behind by double-digit points : [スポーツの試合などにおいて] 2桁 (の得点) 差をつけられて

■blind pass : 《スポーツ》 ノールック・パス◆ボールを受け取る相手 (チームメート) の方を見ないで行うパス◆【同】no-look pass

■booed by one's own fans : 《be ~》自分 [自チーム] のファンに [から] ブーイングされる◆スポーツ選手などが。何らかの理由で、自分を応援するはずの人々を怒らせてしまった。

■defensive foul : [バスケットボールなどにおける] 守備側の [ディフェンシブ] ファウル

■disqualified for doping : 《be ~》 [スポーツ選手などが] ドーピング (違反) で失格になる

■distance event : 《スポーツ》 長距離競技

■double pump fake : ダブル・ポンプフェイク◆バスケットボールなどにおける、2連続のポンプフェイク◆【参考】pump fake

■fast-break opportunity : 《a ~》 [バスケットボールなどの] 速攻のチャンス

■gene doping : 遺伝子ドーピング◆スポーツなどにおけるドーピングの一種。遺伝子治療の手法を利用して、運動能力などを高めるもの。

■gentlemanly play : [スポーツなどにおける] 紳士のプレー

■home-run-hitting machine : 《a ~》《野球》ホームラン製造機◆ホームランを量産する打者の愛称。◆【参考】hitting machine

■individual technique : 《an ~》 [スポーツ選手などの] 個人が持つ技術 [テクニック]、個人技

■mechanical doping : メカニカル・ドーピング◆自転車競技などにおける不正行為の一つ。自分が使う乗り物に、規定違反のアシスト装置 (バッテリーと小型モーターなど) を内蔵させ、脚だけでこぐよりも高い推進力が得られるようにすること。狭義のドーピング (薬物使用) ではないが、それと同様、フェアプレーの精神に反する。

■photo-finish win : 写真判定での勝利◆競争において、ほとんど同時にゴールした場合など

- steroid-free {形} : [運動選手などが] ステロイドを使わない [使っていない]
- three-pointer right on the buzzer : 《バスケ》ブザーと同時 [ビーター] のスリーポイント (シュート)、スリーポイント・ブザービーター
- uncontested shot : ノーマーク (で) のシュート◆バスケットボールなどのスポーツにおいて、近くに守備側の選手が誰もいない状態でシュートする場合。
- well-rounded player : 多彩な才能を持つ [何でもそつなくこなす] 選手◆スペシャリストタイプの選手と対比的に

その他

- all-out snowball fight : [子どもたちなどの] 激しい [力いっぱい] の雪合戦
- annual profit forecast : 通期業績予想◆企業の一会計年度における業績予想
- barbed-wire fencing : 鉄条網◆有刺鉄線で作られた柵
- bare wood : ベアウッド◆塗装されていない状態の木材
- best-by date : [食品などの] 賞味期限、推奨使用期限◆【同】best-before date
- broadcast radius : 放送範囲◆放送電波が届く範囲
- can't help but laugh out loud : 思わず [こらえ切れず] 声を出して笑ってしまう、思わずアハハと笑ってしまう、笑いを抑えられない
- can't keep a straight face : 真顔を保てない、思わず嘖いてしまう [笑いだす]
- daytime headlight use : 昼間点灯◆明るい昼間に車両のヘッドライトを点灯させること
- disappropriate {他動} : 〈文〉 [予算・リソースなど] を割り当てるのをやめる、~の配分を打ち切る◆【参考】appropriation
- doership {名} : 行為者性 [であること]、自分が行為の主体であるという思い、無私の行為ではない状態◆主にインドの哲学・宗教の文脈で使われる表現。我執のようなものとされ、しばしば「そのような執着にとらわれてはならない」と説かれる。
- fight crazy with crazy : 〈話〉ばかをもってばかを制す、ばかばかしい方法でばかばかしい事柄に対処する◆慣用句 fight fire with fire をもじった表現。多くの場合「奇手を使う相手には、こちらも奇策で対応」という文脈で使われる (「毒をもって毒を制す」のような考え方)。「相手が異常だからといって、それに付き合っ自分まで異常なことをする必要はない」という否定の文脈で使われることもある。
- footwear impression : 下足痕、ゲソコン◆事件現場に残された履き物の跡

■given the price of : ~の価格を考慮すると◆文頭、文中、または文尾で用いらた場合の訳例

■glued to one's phone : 《be ~》〔周囲のことを気にせず長い時間〕(携帯)電話に夢中になっている、携帯の画面とにらめっこしている

■grab-and-go bag : 非常時持ち出し袋◆災害発生などで緊急避難しなければならない場合に備えて、飲食物、救急箱、懐中電灯、衣類、雨具、ティッシュなどを入れた袋。

■health insurance fraud : 健康保険(金)詐欺◆架空請求など

■highly migratory species : 高度回遊性魚種◆マグロ、カツオ、サメなど

■huge lunch rush : 〔飲食店などにおける〕昼食時〔ランチタイム〕の大混雑

■hungry to know : 《be ~》~についての知識に飢えている、~を知りたくてウズウズしている〔知りたくて仕方ない〕

■in a panicked frenzy : 大慌てで、慌てふためいて、血相を変えて、泡を食って◆パニック状態の動転ぶり

■open and transparent : 〈比喩的〉オープンでガラス張りの◆組織の活動などについて。情報が公開されていて、誰でも自由に内容を知ることができる。

■practically in tears : 〔実際に涙を流しているわけではないが〕今にも泣きそうで、涙目になりかけて

■rain of ruin : 破滅の雨◆原爆投下の比喩表現

■rebound relationship : リバウンド交際◆恋愛などが破局を迎え交際相手と別れた人が、そのショックから立ち直れていない段階で、寂しさを紛らわすために(とりあえず)別の人と付き合うこと。

■shout profanity : 〔怒った人などが〕野卑〔みだら〕な言葉を叫ぶ

■showreel {名} : 人物〔プロフィール〕紹介ビデオ◆例えば、俳優や監督のこれまでの業績について、実際の作品からの抜粋映像を交えながら数分で要約・紹介するもの。

■shrouded in controversy : 《be ~》〔事実関係などが〕論争の的となっている、〔主語(真相・問題など)については〕諸説が紛々としている〔さまざまな説がありはっきりしない〕

■situational crime prevention : 状況的犯罪防止◆人を変えるのではなく、状況を変えることによる犯罪防止

■straight-acting {形} : 〈俗〉非同性愛者のように振る舞っている、ゲイっぽさを見せない◆主に男性の同性愛者について。「他人から見て同性愛者らしさが感じられない」という意味だが、潜在的に「同性愛者は皆同じ」「同性愛者であることを隠したいのは自然」といったステレオタイプ・昔の偏見に基づく言葉とも解釈可能であり、失礼な表現だと考える人もいる。

■switch schools : 転校する、通う学校を変える◆目的語が複数形なのは「新・旧二つの学校の間での切り替え」というイメージから。

■teeny-tiny chance : 〈話〉ほんの少し〔ちょびっと〕の可能性

- to the farthest reaches of the earth : 地の果て [地球の隅々・地球の果て] まで
- tree skirt : ツリースカート◆飾り付けとして、クリスマスツリーの根元の部分を囲むように置かれる円形の敷物。
- trigonometrically {副} : 三角関数によって [を使って]
- triple-charge {他動} : (人) に三重課金する、(人) に対して本来の金額 [料金] の 3 倍を請求する◆不正請求 (ぼったくり)・誤請求など◆【参考】double-charge
- vanishingly little doubt : 疑いの余地がほとんどない状況、まず間違いないこと、ほぼ確定的な状態◆【直訳】消滅しつつあるほど (=ないに等しいような) わずかの疑い
- vegan pizza : 植物性 [ビーガン] ピザ◆チーズ、ソーセージなどの動物性の食材を使わないもの
- voice on the street : [街頭インタビューなどにおける] 街角の声
- with no proof whatsoever : 全く何の証拠もないのに

略語

- CA : =classroom aide●授業補佐 [助手]
- CEPI : =Coalition for Epidemic Preparedness Innovations●感染症流行対策イノベーション連合◆【URL】<https://cepi.net/>
- DFS : =designated for assignment●〈米〉《野球》[選手がメジャー選手登録の] 40 人枠から外されて
- ESA : =emotional support animal●感情支援動物◆精神的問題を抱える人にとって、癒しを与えてくれる (落ち着いた気分させてくれる) 動物 (特別な訓練を受けていない)。
- FIM : =flood inundation map●洪水ハザードマップ
- GTRI : =Global Threat Reduction Initiative●地球規模脅威削減イニシアチブ
- LGB : =laparoscopic gastric banding●《外科》腹腔鏡下胃バンディング術
- SAR : =species-area relationship●《生態》種数面積関係

例文集「例辞郎」

- For service in English, press 1. : 英語での案内 [サービス] を希望される方は、数字の 1 を押してください。◆【場面】多言語対応の自動音声案内装置など。言語選択のメッセージ。
- I never thought a day like this would come. : まさかこんな日が来るとは、思ってもみませんでした。

■Nobody look. : みんな（こっちを）見ないでね。／誰も見ないでください。／目をそらしててください。◆【場面】他人に見てほしくないことをする（している）。例えば、更衣室（に行く時間）がなく、部屋の隅で素早く着替えなければならない。

■Sorry, (but) not sorry. : （こんなことを言うのは）申し訳ないけど、「申し訳ない」とは思えません。／悪いけど、同情できない。／ごめんね、「ごめんね」って思えなくて…。◆【場面】例えば「失礼だけど、はっきり言って、それはあなたの自業自得でしょう」という気持ちを表す。話題の件それ自体については「申し訳ない・気の毒」とは思えない。「気の毒とは思えない」と述べる、という行為に関しては、一応「申し訳ないけど」と断っておく。口語的。しばしば皮肉っぽい（相手をからかうような）ニュアンスを持つ。

■What's that got to do with anything? : それが何に関係あるというのです？／何の関係もないことでしょうか？

